

れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう



モーセの しゅっせい



いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび

さんびが 93 ばん (イエスはわがいのち) しゅのなかにいるわたし (2019 ねんこどもさんび)



せいしよ

しゅつエジプト 2:1~10

出エジプト 2:1~10 パロの娘が水浴びをしようとナイルに降りて来た。彼女の侍女たちはナイルの川辺を歩いていた。彼女は葦の茂みにかごがあるのを見、はしためをやって、それを取って来させた。それをあけると、子どもがいた。なんと、それは男の子で、泣いていた。彼女はその子をあわれに思い、「これはきっとヘブル人の子どもです」と言った。そのとき、その子の母がパロの娘に言った。「あなたに代わって、その子に乳を飲ませるため、私が行って、ヘブル女のうばを呼んでまいりましょうか。」パロの娘が「そうしてくれ」と言ったので、おとめは行って、その子の母を呼んで来た。パロの娘は彼女に言った。「この子を連れて行き、私に代わって乳を飲ませてください。私があなたの賃金を払いましょう。」それで、その女はその子を引取って、乳を飲ませた。その子が大きくなったとき、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。(5~10)



みことば

モーセの しゅっせい

しかいしゃ

月日は流れて、ヨセフを知らない新しい王がエジプトを治めるようになりました。エジプトの王はイスラエルの民を奴隷にして、苦しい仕事をさせました。イスラエルの民はどんどん人数が増えたので、王は助産婦に命じて、イスラエルに男の子が生まれると殺すように言いました。しかし、神様を恐れていた助産婦たちは、命令に従いませんでした。怒ったエジプトの王はすべての民に命令して、イスラエルの男の子をナイル川に投げ込んで殺すように言いました。

そのとき、イスラエルのレビ人のひとりの男の人が、レビ人の女の人と結婚して、男の子を生みました。お母さんになったヨケベデは、3か月の間、子どもをこっそり隠して育てていましたが、これ以上、隠しきれなくなったので、パピルス製のかごに子どもを入れて、ナイル川に流しました。ちょうどその時、エジプトの王女が川に水浴びをしに来たので、その子を見つけ、その子のためにヨケベデを乳母とすることにしました。子どもは育て、エジプトの王女の息子となり、彼は「モーセ」と呼ばれるようになりました。



いのり

いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ かみさまの けいやくを なしとげるために
モーセを まもられたように わたしにも ぜんせかい237かこくを いかす けいやくを
くださったので、 ききや こんなんが あっても まもってくださることを しんじます。
いきておられる イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン



しゅのいのり

いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム

きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう

4日

5日

6日

7日

8日

9日

まいにち



チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どうよう



133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

04

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

**そのこが おおきくなった とき、
おんなは そのこを パロの むすめの
もとに つれていった。**

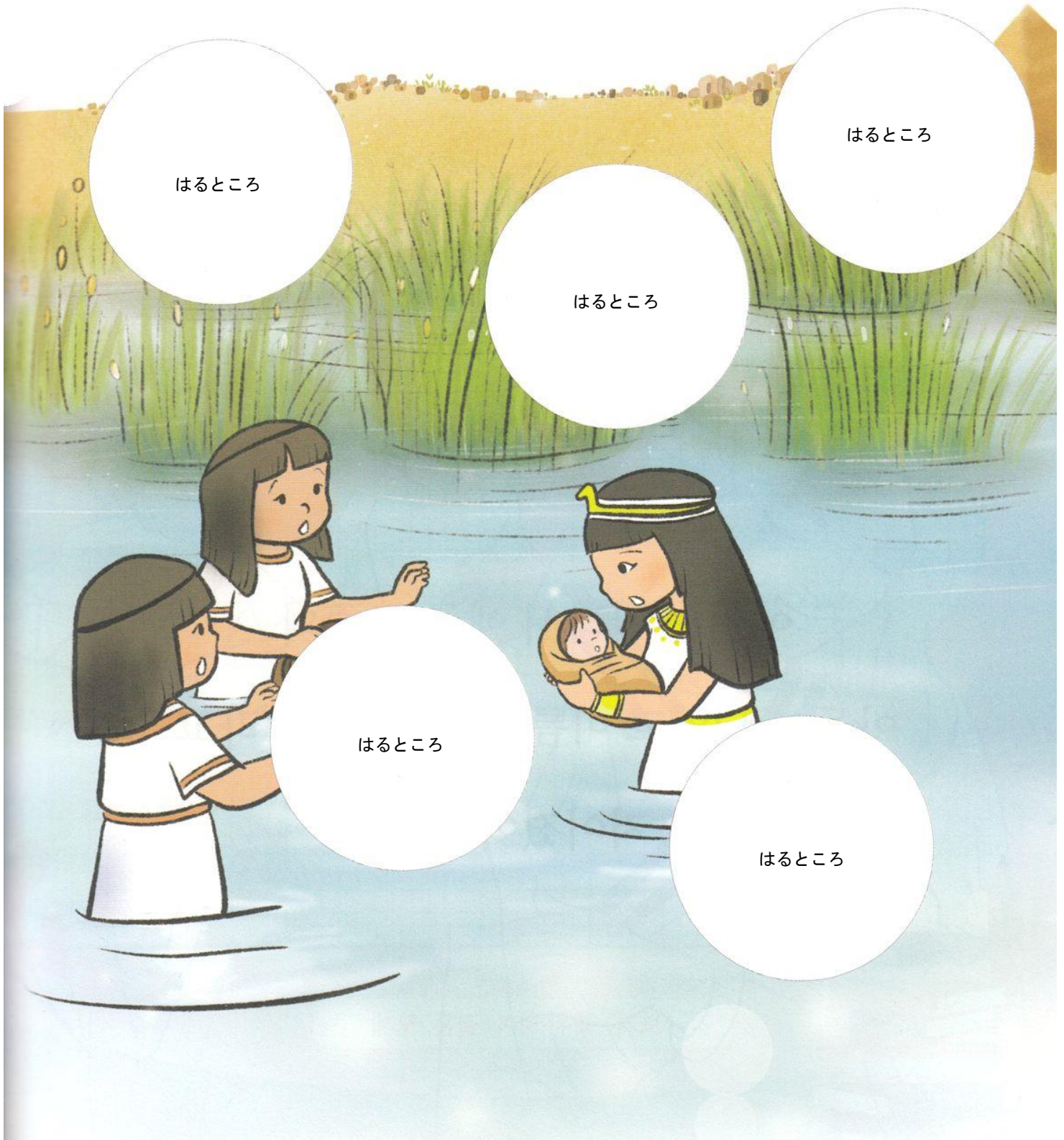
**そのこは おうじよの むすこになった。
かのじよは そのこを
モーセと なづけた。**

**かのじよは、「みずの なかから、
わたしが このこを ひきだしたのです」
と いったからである。**

しゅつエジプトき2しょう10せつの みことば

エジプトの おうは イスラエルの たみの かずが どんどん おおくなっていくので おとこのこが うまれたら みんな ころすように めいれいしました。 レビびとの ヨケベデは 3かげつの あいだ こっそりと かくれて こどもを そだてて いましたが これいじょう かくすことが できなく なりました。 それゆえ パピルスせいのかごに こどもを 入れて ナイルがわに ながしました。 したの えの あいている ところに つぎの ページから あう えを きりとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ



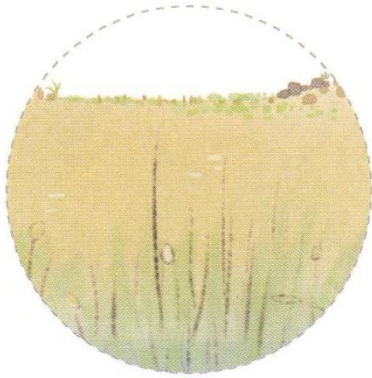
はるところ

はるところ

はるところ

はるところ

はるところ



きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの あいている ところに あう たんごを かきましょう。

イスラエルの の

ひとりの おとこのひとが、

レビびとの おんなのひとと

して、おとこのこを うみました。

こどもは そだって、

エジプトの おうじよの むすことなり、

かれは「」と

よばれるようになりました。

かくれている えを みつげたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

イスラエルの レビびとの ひとりの おとこのひとと おんなのひとが
けっこんして おとこのこが うまれました。 モーセと りょうしんは
しょうらいに なにが おきるか まったく しらなかったのですが かみさまの
けいかくの なかで モーセは パロの おうじよの ところに みちびかれました。
こどもは そだって エジプトの おうじよの むすことなって なまえを
「モーセ」と よばれるようになりしました。 したの えを きれいな いろで ぬりましょう。

じゅんぴするもの | いろをぬるどうぐ

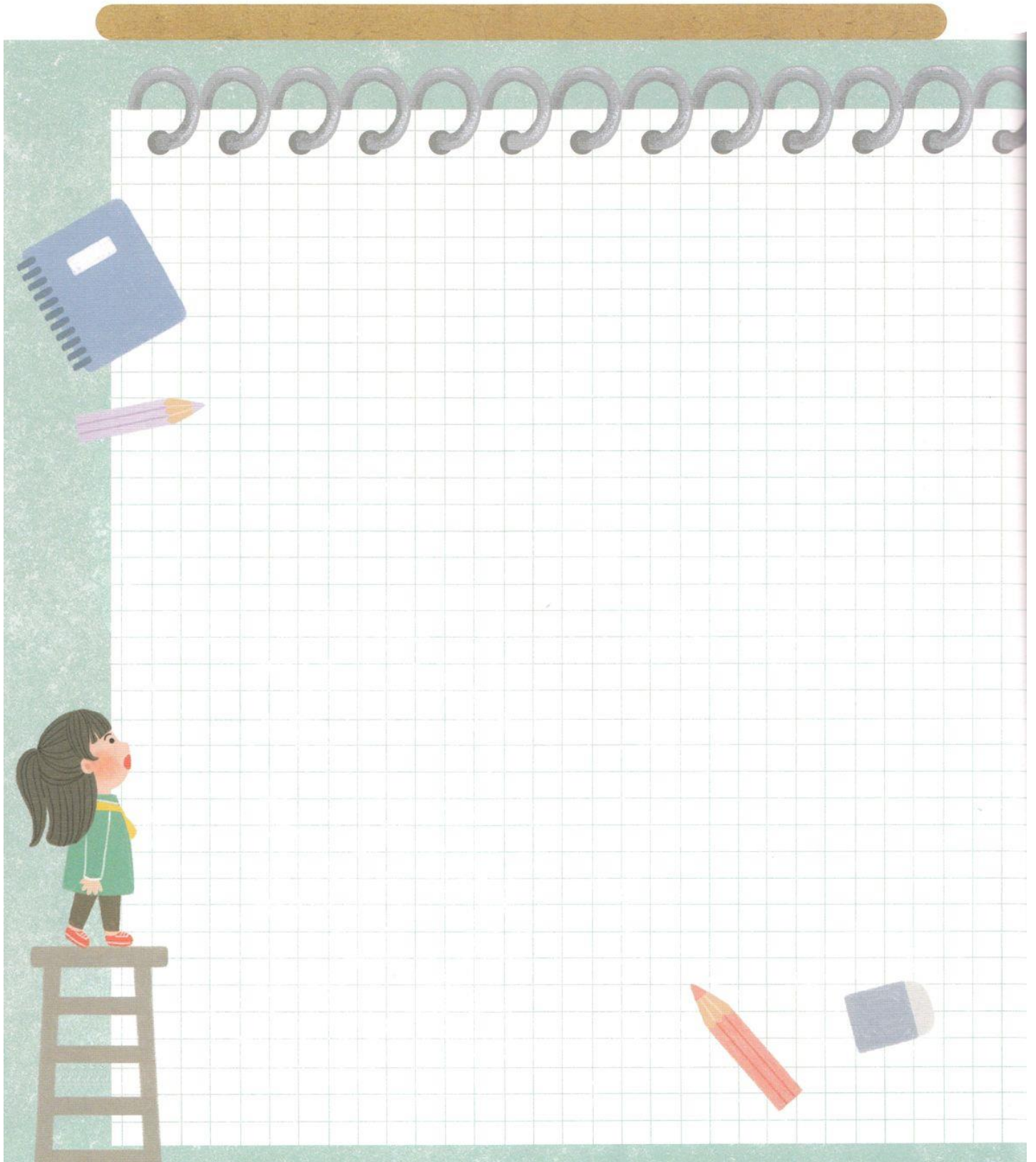




パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。



かみさまを している おうさまと しらない おうさまは なにが
ちがうのでしょうか。わたしは かみさまと いっしょに いる レムナントに
まちがい ありませんか。 パパとママと いっしょに はなしを して
えか じで ひょうげんしましょう。

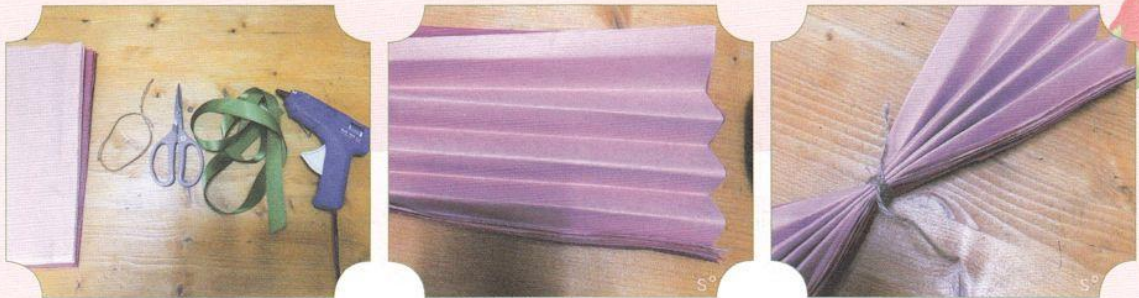


たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

わたしを レムナントとして このよに おくってください
かみさまと わたしを そだてて くれる パパとママ、
わたしに みことばで おしえてくれる ぼくしせんせいと きょうかいの
せんせいに かんしゃの ところを つたえましょう。したの ワークを
して わたしの ところを ひょうげんしましょう。

じゅんびするもの | こいピンクと うすいピンクの おはながみ (A4) 10まい ゴムひも
ピンキングはさみ、 みどりいろの リボン、 グルーガン

カーネーションの はなの ぼうしを つくって かんしゃしよう



- ① こいピンクの おはながみ 5まいと うすいピンクの おはながみ 5まいを
きちんと かさねた あと うちのいのかんかくで おります
- ② おった おはながみの まんなかを ゴムひもで くくります
- ③ はしを ピンキングはさみで ぎざぎざにきります
- ④ おはながみを いちまいずつ うえに あげて はなの かたちを つくります
- ⑤ みどりの リボンを グルーガンで こていします
- ⑥ はなが あたまの うえに くるように おいて あごに リボンむすびが
できるように むすびます
- ⑦ かんしゃする パパやママ、 ぼくしせんせい、 きょうかいのせんせいに
カーネーションのぼうしを つけて いて 「ありがとうございます。
だいすきです」と かんしゃの ことばを つたえましょう。
レムナントである わたしが いることが おとなの みんなには さいこうの
プレゼントです。

